

平成26年10月28日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

福祉文教委員会

委員長 関矢孝夫

福祉文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 行政視察の総括
(2) その他

- 2 調査の経過 10月28日に委員会を開催し、上記事件について調査を行った。
10月15日から17日に実施した行政視察の総括を行った。視察を踏まえ、今後の活動について休憩中に自由討議を行い、引き続き調査していくこととした。
その他で、次回の委員会での調査事項について協議を行った。

福祉文教委員会会議録

1 調査事件

(1) 行政視察の総括

(2) その他

2 日 時 平成26年10月28日 午後3時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 大平恭児、志田 貢、遠藤徳一、渡辺一美、関矢孝夫、森島守人、
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 なし

7 書 記 小幡議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (15:00)

関矢委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから福祉文教委員会を開会します。これから本日の会議を開きます。

(1) 行政視察の総括

関矢委員長 日程第1、行政視察の総括を議題といたします。皆さんから行政視察について意見等をいただきたいと思えます。

大平委員 阿智村の中学校統合について、話を伺った中では当市と似ているところもあるし、考え方等の違いも見えたので一概に言えないんですけど、もし中学校の学区再編の中で統合の話、それから前段で協議することについては、非常に参考になったと思えます。ただ、統合してそんなに日が経っていないので、今後どういう問題が出てくるのか、そこが見えていないので少し気になるところがありました。大垣市の子育て施策ですが、財政規模が全然違うところで比較がしづらいんですけど、考え方、何を市の政策の柱に据えているのかというところで魚沼市とちょっと違う印象を持ちました。同じことをやろうとしても無理があることもあるんですが、考え方としては子育て支援を市の政策の中心に持ってこれるように、人口問題等もいろいろ論議されている中では非常に重要な分野だと思えますので、大いに考え方等を取り入れていってほしいと思えます。それから、高山市の冬季

高齢者住宅ですけど、私たちも住宅等の整備は非常に重要で、魚沼市内の住民の方からのそういう要望、公共施設の空き施設を利用した住宅の整備など、そんなにお金をかけないでやれるものは何とかならないかという話はずっと聞いてきたんですけど、実際にお話を伺ってみると、方向はいいんだけど実際にやるとなると人を集めるのも周知をするのも理解を得られるのもなかなか難しいというところが聞けたので、そういうところを生かしながら魚沼市で工夫をした住宅の整備等も進めていかななくてはならないかなと思って伺ってきました。それから、保育所の民営化なんですけど、これも魚沼市でも今後探るべき道もあるかなと思いつつ聞いてきました。ただ、やはり考え方の違いですね。特に民営化する前の検討委員会を立ち上げたところから私立と公立と一緒に共通の理念を持って保育所の運営をやっていくというスタンスは、魚沼市でも参考にすべきかなと思いました。やっぱり現状では少し考え方が違う印象を持ったので、本当に民営化を進めるのであれば、こういう事例を見た上で進めていくよう、合意形成を含めて参考にすべきではないかと思いました。

遠藤委員 全般的には大変よい視察だったという感があります。環境は大きく違っても得るものがあったり、また、ちょっと発想を変えればそういった考えになるのかなというところを勉強させていただいたように思います。中学校の統合につきましては、視察先の中学校の子どもたちが大変明るく元気に挨拶をしてくれたり、統合後はすぐスポーツで成績を上げてきているという話があり、ただ単に統合がいかげなものかと疑うよりは子どもたちの順応性に任せていろいろな施策に魚沼市も転じてもいいのかなという感じを受けました。大垣市でありますけれども、何よりも感じたのがビジョンと申しますか、子育て日本一を目指そうとしてからの職員の動きですとか、職員も市民も一緒に同じような熱い思いにならないと進められない部分もあるということでは、きちんとしたビジョンを打ち立てて市民の合意形成を図る段階を踏んでいくということをきちんとやるべきだと思いました。冬季高齢者ファミリーホームのくとい館につきましても、地域の施設に地域の担当者が入り真剣にその地域の高齢者のためにどう動けるか、内輪話をすれば自分が楽になる方法だとおっしゃっていましたが、やはり地域に信頼を得てその人たちを説得して方向性を出していく取り組みについて、スーパー黒子に徹しているという意味で大変すばらしいという感じを受けました。保育所の民営化については、やはり市民の合意形成をどのように図っていくか、その入口の部分を中心に踏まえて取り組まないと、たすきのかげ違い等になることがあるので、もし魚沼市も民営化に踏み切っていくのであれば、その手法を市民にしっかりと周知を図りながら、最終的には経営が楽になるからとか合理的だ、効率的だということではなくて、子どもの環境のためにまず何をすべきかということを中心に踏まえて出発地点を出たほうがいいのではないかという感じを受けました。

渡辺委員 今ほど大平委員、遠藤委員がほとんどお話をさせていただきましたので、私のほうからは違った角度からということで、大垣市の子育て施策にいたしましても、圏域とか地区センターを16万人で14カ所ということで、大体1万人に1カ所くらいの地域包括ケアシステムと同じように子育ての場面でも中学校区に1カ所くらいの地区センターをつくっていくというような政策でありました。そしてまた、高岡の日常圏域につきましても10圏域ということで、やはり中学校区でもって1圏域で地域包括ケアシステムをつくっていくかというような発想でありました。そうしたときに、魚沼市の場合は介護保険事業計

画が始まってからずっと1圏域で来ているということで、どうしても整備の遅れですとか、各地域にそれぞれ必要なものをきちんと整備していくという考え方が遅れてきていたのではないかと感じました。子育て支援につきましても、先般1圏域でというふうに素案が出てきましたけれども、やはりそれぞれの地域ごとにしっかりと整備していくことを考えたときに本当にそれでいいのだろうか。やっぱり他市がしているように、総合計画との整合性という意味では魚沼市の総合計画では4から5くらいの圏域があったと思いますので、それに合わせながらきちんとそれぞれの地域で子育ても、そして高齢者もしっかりとできるというふうにしていく必要があるなど感じました。そのほか民営化のことにつきましても、大平委員も話をしていましたけど、しっかりと民営化していくための検討委員会なりがきちんとない状況で、今回の庁舎もそうですけど急に市のほうからいろんなビジョンを出されるよりは、住民が合意形成していくためにはどういう検討委員会を立ち上げていったらいいかということもやはり考えなければいけないというふうに思った次第です。特に検討委員会の中で短大の教授が座長になるという話がありまして、魚沼市もそういう識者の方に依頼することによって全国的な傾向ですとか、黒部のほうでは第三者機関を使いまして第三者評価をしているということも聞かせていただいた中で、そういった手法はぜひ魚沼市も取り入れていかなければいけないと。特にこれから民営化を進めていくのであれば、質の高い子育てを確保するためにもそういった手法をしっかりと取り入れていかなければいけないというふうに思いました。学べるところはまだまだたくさんありましたけれども、今後一つ一つそこで学べた、あるいは魚沼市に生かせそうなこと、しっかりと当局に提案したり、そしてまた一緒に考えていきたいと思いました。

森島委員 1日目の阿智村の学校についてでありますけれども、簡単に言いますと阿智村の学校統合と魚沼市の学校統合はちょっと違うんだなと感じたところであります。広域行政による事務委託方式による受け入れ、あるいは広域行政で教育を行うということですので、我々が統合する目的とは若干違うのではないのかなと思いました。あくまでも阿智村主導による条件のある統合であったというふうに感じております。部活動のスクールバス等は祝祭日は出さないということもありましたので、阿智村主導の教育行政だと感じましたし、中学生の2分の1がスクールバスで通ったということでもありますので非常に大変だと感じたところであります。次に、高山市の高齢者住宅でありますけれども、これは冬季共同生活事業に積極的に取り組んだ事例を聞いてきました。一担当者の努力と高山市社会福祉協議会の積極的な姿勢を感じてきたところであります。魚沼市も12月から4月末ごろまで5カ月間雪に覆われ、日照時間が非常に少ないわけでもありますので、今後は冬季共同生活の住宅を待ち望んでいる市民もおられると思いますので、担当課なりが限界集落等からアンケートを取るなど、委員会としても積極的に取り組んでいただきたいと感じました。次に、高岡市の高齢者の住まい施策についてでありますけれども、団塊の世代が75歳以上になる2025年をめどに包括ケアシステムをするということでしたので非常に参考になりました。そして、大垣市の子育てでありますけれども、子育て支援条例をつくっており非常に参考になったところであります。水都っ子ウイークをつくって7日間取り組んでいるという積極的な姿勢がありました。規模は違ったとしても、そのように取り組んでいかなければならないと思いました。職員からの話で、トップが変わると私たち職員もかわらなければならない、そういう施策を出したときにやはり職員としてどう対応できるかという職

員の体制も感じたところでもあります。今後我々も見習うべきところは見習っていかなければならないというふうに思いました。次に、黒部市の保育所民営化でありますけれども、人口規模等魚沼市と類似するところがたくさんあったところでもあります。保育園を民営化するに当たり検討委員会が非常に充実している。民間の方や大学の教授も入れながら細かに検討委員会をやったということで、これも学校統合にも共通するところがあるのではないかと。やはり段階を踏みながら進めていかなければならないと感じてきたところでもあります。市長が民営化をするという方向でありますので、総合計画の中に年次計画を立てながら策定すべきだと考えてきたところでもあります。いろいろ研修してきましたけれども、3日間非常に有意義で参考になったと総括したいと思います。

志田委員 大変有意義な視察でした。高山市の冬季高齢者ファミリーホームについては、担当者の熱い思いで献身的な姿勢が身を結んだというお話を伺ったときに、やはりこれから少子高齢化、人口問題あるいは集落的な問題を含めると、のくとい館が成功した第一の理由として、やはりそこに診療所があって郵便局があって農協があって、狭い範囲の中でお年寄りの方が生活できる環境がある場所に教員住宅という施設があった。そこが大変うまく利用できた部分ではないかという話がありました。これからいろいろな意味で1つの場所に皆さんが集まれるような、そういう都市計画、これから新庁舎の問題もありますが、そういうことも含めて機能的なコンパクトな思いのある都市計画が必要ではないかと痛切に感じました。ほかの部分につきましては皆さんがお話しされたとおりです。

関矢委員長 参考になり当市においても今後生かしていきたいというご意見があったと思います。きょうこれからの進め方ですけれども、4つの大きなテーマになりますが、1つは広神中学校、守門中学校、入広瀬中学校の統合問題、今は要望書が出されたことによって保留になっていますけれども、この問題について阿智村の中学校統合を勉強させていただきました。それから、子ども・子育て支援事業計画の策定が進められており、子育て支援について大垣市で勉強させていただきました。あと、魚沼市のこれからの未来といいますか、高齢者人口がふえる中でどうしても避けて通れない高齢者住宅を課題にさせてもらったのが1つ。もう1つは、市長から保育所の民営化が打ち出されました。この4つについて、委員会としてどのように取り組んでいくかということをご皆さんから自由に意見を出していただきたいと思っております。休憩の中で自由討議をさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。(異議なし) しばらくの間、休憩とし、自由討議を行います。

休 憩 (15 : 18)

休憩中に自由討議

再 開 (16 : 19)

関矢委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。今ほど自由討議の中で皆さんから意見を聞かせていただきましたので、まとめさせていただきます。まず、中学校の統合についてですが、今現在進められている計画は保留になっており、検討委員会の推移を見ながらではあります。魚沼市全体の小学校、中学校を含めた中での学区再編について再度調査を

しながら進めていくということによろしいでしょうか。(異議なし) 子ども・子育て支援事業計画については、いい勉強をさせていただきましたのでこれを参考にしながら、まずは委員会として子ども課の職員等と勉強会をさせていただいて、事業計画案策定に向けて情報を共有していきながら進めるということによろしいでしょうか。(異議なし) 高齢者住宅につきましては、所管から外れる部分もありますので第二次総合計画にどの程度盛り込まれるか、そこで議論させていただくこととし、福祉の分野としての高齢者住宅については検討できると思いますので担当課と協議をさせていただき、社会福祉協議会等との勉強会についてもお願いをしていくということとしてよろしいでしょうか。(異議なし) 保育所の民営化については、まずは入口論ということで、今後の魚沼市の保育または幼児教育のあり方、姿を検討する組織を設置していただくことを教育委員会に求めていき、さらに委員会としては私立の保育園、幼稚園のメリット、デメリット等の勉強もしなければなりませんので、その辺を踏まえて調査をさせていただくことによろしいでしょうか。(異議なし) それでは、以上のとおりまとめさせていただきます。

(2) その他

関矢委員長 日程第2、その他を議題とします。次回の委員会での所管事務調査について、皆さんから案件がありましたらお願いします。

遠藤委員 議会報告会で出された意見で委員会で検討することになった案件について、議会だよりあるいは次回の議会報告会で検討したことを報告することになっていますので、ぜひ検討していただきたいと思います。

関矢委員長 しばらくの間、休憩とします。

休 憩 (16:23)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (16:26)

関矢委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。ほかにありませんか。

渡辺委員 堀之内子育て支援センターが3月までだということで、あそこの機能についてどうするかということは今検討中だと思うんですけども、3月になりました、はい、そうですかというわけにはいかないと思いますので、どういうふうに検討されているのかというところを聞かせていただかなければと思っています。一時預かりの機能や病後児保育もあります。聞くところによると、新しい病院ができた段階で病後児保育をつくるということも聞こえてはきていますが、実際にそれが本当にできるのかどうかもまだわかっていけませんので、あそこでやっている機能のことについて今どういうふうになっているのかお願いしたいと思います。

関矢委員長 しばらくの間、休憩とします。

休 憩 (16 : 29)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (16 : 37)

関矢委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。ほかにありませんか。(なし) 意見のあった案件については、引き続き調査していくこととします。これで、その他を終わります。本日の会議録の調製については委員長に一任をいただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。(異議なし) 本日の福祉文教委員会は、これで閉会とします。

閉 会 (16 : 38)